科目ナンバリング	U-LAS55 10002 SB31						
授業科目名<英訳>	海外実地セミナー:暮らし・環境・平和ーベトナムに学ぶ Overseas Field Seminars :Livelihood, Environment and Peace - Studying in Vietnam			担当者所属職名・氏名	地球環境学舎 准教授 落合 知帆 地球環境学舎 助教 貫名 涼 地球環境学舎 准教授 柴田 誠 地球環境学舎 准教授 田中 周平 地球環境学舎 教授 真常 仁志 地球環境学舎 助教 東口 阿希子		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	多文化理解			使用言語	日本語及び英語
旧群		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期集中	曜時限	集中 未定	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

・事前講義では、ベトナムやアジア地域の環境、開発に関連する話題を講述・議論する。
・海外臨地研修では、主にベトナム中部の村落や史跡を訪問し、地域それぞれの自然環境や歴史、社会環境と暮らし、生業について学ぶとともに、「平和」を考える。
・海外渡航での安全管理や地域の人々との関わりの作法についても学習する。

[到達目標]

ベトナムの山岳部における人々の暮らし、自然環境や生業等を理解する。
ベトナム戦争の歴史や戦地訪問を通じて、戦争について考える。
急速に発展するダナン市内の下水処理やごみ処理などの環境問題について学ぶ。
ベトナムの史跡や村落への訪問を通じて、歴史や社会環境について考える。

[授業計画と内容]

7月4日（土）の事前講義、8月6日～18日の12泊13日間の臨地研修を予定している。
1) 臨地訪問
・山岳部の人々の暮らし、自然環境や生業等について学ぶ
・ベトナム戦争の歴史や戦地訪問を通じて、戦争について考える
・急速に発展するダナン市内の下水処理やごみ処理について学ぶ
・ベトナムの史跡や村落への訪問を通じて、歴史や社会環境について考える
2) 学生交流・現地調査
・興味のある課題を設定し、ベトナム人学生と共に調査計画、現地調査を実施
・学生生活や双方の国に関する歴史・文化等に関する意見交換
3) 成果発表
・ベトナム人学生と共同で研究成果を発表する

[履修要件]

①履修定員：12名（最小遂行人数：6名）
②受講希望者は、5月頃（予定）に行われる説明会に出席のうえ、説明会で配付される応募書類や志望理由書などを期日までに提出してください。
③選考方法：受講者については、「志望理由」等に基づき総合的に選考を行います。
④本科目は履修取消対象外の科目となるため、履修登録確定後の取消はできません。

海外実地セミナー :暮らし・環境・平和ーベトナムに学ぶ(2)へ続く↓↓↓

海外実地セミナー :暮らし・環境・平和ーベトナムに学ぶ(2)

[成績評価の方法・観点]

事前研修レポート（10点）、現地での発表（30点）、事後研修レポート（60点）の合計100点により評価を行う。詳細は事前講義で説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
事前講義で紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

ベトナムに関する基礎知識を書籍やインターネットを通じて事前に収集しておくこと。また、事後研修レポートの作成時には、現地での経験や収集した情報を振り返り、反映すること。

[その他（オフィスアワー等）]

前期の採点報告日以降に実施するため、成績報告が前期に間に合わない可能性がある。

注意事項：

（1）原則全額自己負担。自己都合での取りやめや不開講等の場合、キャンセル料などは全て自己負担となる。
（2）参加費用（約17万円（2025年度実績））には、往復航空運賃（空港利用料・空港税・国際観光旅客税・燃油付加運賃含む）、国外での研修費、宿泊費、交通費、現地交流費用および諸雑費が含まれる。
（3）参加費用以外の経費として、パスポート取得料、学研災付帯海外留学保険費、国内交通費、小遣いなどがある。これらは原則として各自が行う。

[主要授業科目（学部・学科名）]